

2023.4.20 (木)
第 37 回例会
(通算3706回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第 2500 地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

月間テーマ	母子の健康月間
本日のプログラム	「地区研修協議会に参加して」(次年度理事会)
次週例会	「新入会員対象者をお招きして」(会員増強・選考・職業分類委員会／親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業
- ソングリーダー：荒井 剛君
- 会員数 98 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

滝越 康雄会長

こんにちは。先日の『地区協議会』にご出席の皆さん、ありがとうございます。行かれた方はご苦労様でございました。内容に関しては、今日そのプログラムですので、メンバーから楽しい話を聞けると思っております。



私は、その紋別で、2次会会場のスナック「ほるすたいん」を出てから、この雑壇のメンバーともうひとりとラーメン屋へ行きましたら、なんと北クラブの主要メンバーがいて、そこで米中衝突で和やかにして、気がついたらラーメン代をすべて向こうが持ってくれて、大変な借りを作ってきました。

私の任期中にこの雑壇でスピーチをすることも、私が原稿を作って読み上げるのは、今日が最後かなと思っておりますので、少し時間をお借りしたいと思います。

今日は、固い話ですけど、防衛の問題です。この『2020年、日本から米軍はいなくなる』というタイトル9年前の本です。なぜ9年前のものを持っているかというと、中身が非常に当たってきています。アメリカ国内でシェールガスという油が取れるようになりました。アメリカが世界最大の産油国になったと

いうことは、外へ出かけて、中東・アフガンなどで戦争を行う必要がなくなってしまいました。ということで、アメリカもリッチな国ですから、外へ出かけて面倒なことをするよりも孤立主義、いわゆるモンロー主義をとおしています。これは100年ぐらいモンロー主義を行ってきましたが、パールハーバーでそれをぶち破りました。そのような歴史があります。

2013年9月に、オバマ大統領が「もう、アメリカは世界の警察官ではないよ」と宣言をしています。2018年のトランプ大統領は、「自国の安全のための米軍利用はやめろ。アメリカ・ファースト」と高々に謳っています。「日本が血を流してアメリカを守らない以上、アメリカが血を流して日本を守る理由はない」「アメリカはもう兵士の血を流して闘う理由はない」ということで2020年から2026年に、中東から撤退。沖縄から撤退、韓国から撤退、海兵隊撤退、ということの方針に出しています。

アメリカの過去の戦争の費用を調べてみました。いつスタートか分かりませんが、900兆円を使っているのです。軍事費も中国と日本と他の国を足して4,500億ドルです。アメリカだけで、6,099億ドルという膨大な費用を使っている国です。

アメリカの戦術としては、アウトレンジということで、何せミサイルが速いから少しゆとりを持って待避場所を設けていないとダメということで、なるべく中国などから遠ざける戦略になってきています。ということ

で、米軍が日本から徐々に引き上げていく方針です。最近、あったことは、沖縄の基地のアメリカ海兵隊が来年グアムに移転します。オーストラリアに撤退します。ここでちょっと振るっていることが、3,721億円という移転費を日本が負担するという形で、少し理屈に合わないところがあります。岩国基地の海兵隊がフィリピンへ向かう。佐世保基地もフィリピンへ行くということで、大事なことは横須賀にある空母とイージス艦は奇襲攻撃を受けた時に第二のパールハーバーを防ぐという意味で、これもなるべく急激にはしないでしょけれども、手を引いていく。

問題は三沢基地という空軍基地です。ここは米軍の諜報活動で目と耳と言われております。巨大アンテナがあり、これは原潜などと連絡をする『象の檻（ぞうのおり）』という通信基地があって、これも技術革新が進めばいらなくなります。ここはロシア空軍の飛行ルートで、よく北の方から北方領土付近に来るけれども、ここまで来てUターンして行きますので非常に大事な所です。ただ、マッハ10の新兵器が来た場合はやられてしまうので、これも、ということで、9年前の本でチェックしていますと、当たってきています。ということで、自分が危機感を持って仕方がないですけども、何かジワジワと来ている気がいたします。

私は、わりと軍事物が好きですけど、関係資料から防衛物のファイルを出してみました。40近くあります。もちろん読むわけにはいかないので、タイトルだけ見ていたら切迫感があります。「ウクライナの次は台湾だ」と。「台湾有事のXデー」、そうすると面白いことは、「世界で大戦があった場合には、『日本とヨーロッパが米軍を奪い合う日』」ということで、兵隊の取り合いになる」と書いてあります。

中国軍、台湾は1日で陥落する。これは、全部ネットから取ったタイトルですから。それから、問題になることは、「ロシアは戦争の相手をウクライナに置き換えた。その前まで、プーチンは北海道侵攻を予定していた」。これはプーチンの秘書のメモに書かれていますので事実のようです。ということで、たまたま、われわれがここにいるのも非常に緊迫してきている時期なので、リアル感を持ってジワジワと来ているような気がします。

最後に、ロシア軍が侵攻したら、音威子府村、第二師団全滅。この前に行った紋別からそれほど遠くない所も危ないよ、と。本に書かれていることは割りと当たってくるし、先を読んでいます。

だからどうする、という開き直りもありますけれども、少なくとも米軍一辺倒で依頼をしていることは、やる気がなければアメリカは相手にしないということで、何か目覚めるべきかな、ということでこの話題を提供いたしました。

まさに国防というか、防衛というか、その戦場にある

ということで、少しのんびりさが冷めるような話で申し訳ございません。

原稿を書いたの深いスピーチは、今日が最後なので一応ご披露しました。

どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 地区研修協議会に参加して

佐藤 貴之次年度幹事

皆さまこんにちは。本日は『地区研修協議会に参加して』ということで、後藤年度にとってこの例会がデビューとなります。これから1年と数カ月ありますが皆さま、どうぞよろしく願います。



本日は、4月15日、16日の2日間、紋別にて開催されました地区研修協議会の報告をさせていただきます。地区協議会の方は、今回30名というたくさんの方に出席していただきました。本当にありがとうございます。本日は、その中から後藤公貴会長エレクト、吉田潤司パストガバナー、八幡好洋君、次年度副幹事・藤井君、最後に私からご報告させていただきます。それでは、後藤公貴会長エレクト、よろしくお願いいたします。

後藤 公貴会長エレクト



皆さんこんにちは。次年度会長を務めることになりました後藤公貴です。ぜひ1年間、よろしくお願い申し上げます。

いま佐藤次年度幹事からありましたとおり、4月15日16日の両日、オホーツク紋別の地で滝越会長、そして小船井・吉田両パストガバナーをはじめとして30名の釧路ロータリークラブのメンバーの皆さまに遙々紋別の地までお越しいただきまして、楽しく2日間を過ごさせていただいたこと、本当に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

後ほどスピーチされる方は、おそらく「くしろナイト」や、道中の様子、車内でのエピソードトークなど面白話がたくさん聞けると思いますので、私からは16日に開催されました3つのファンクション、『基調講演』『本会議』『分科会』について少しお時間を頂戴してお話をさせていただこうと思っております。

皆さまにはご存じかと思いますが、次年度 R I 会長ゴードン R. マッキナリー会長のテーマが「世界に希望を生み出そう」となっております。そして、第 2500 地区・鶴見誠一郎ガバナーが掲げる地区スローガンが「今こそ変わる勇気を さあ一歩前へ」と決定しております。それを踏まえて、最初のファンクションの基調講演のテーマが「希望を生み出す元気なクラブをめざして」ということで、第 2620 地区 2012-2013 年度のガバナーを務められた甲府ロータリークラブ所属の高野孫左エ門さんのご講演がありました。この方は大変な名家の出身ということで、ご参加された方はお話を聞かれたかと思いますが、戦国時代の美談で上杉謙信が武田信玄に「敵に塩を送る」という美しい話がありますけれども、その際、武田信玄側の使者として越後から信州松本まで塩を運んだ塩屋孫左衛門のご子孫であり、現在、この方が襲名されて第 18 代目の孫左衛門であります。お爺様が国会議員、お父様がガバナーを務められていて、ずっと名家・名士として来られている方です。現在は灯油販売や車両販売などの総合商社の会社になっているようです。もしご興味がある方は、ぜひお調べになってください。

講演の内容です。ご自身がロータリーになぜ入会をしたのか。そして、自分の経験を踏まえた中で、会員の勧誘はこのようにした方が良いのではないかというあり方。そして、その会員が入会をした後のフォローアップの仕方、それと退会の防止。それをすべて踏まえて楽しく居心地のよいクラブとはどのようなクラブか、それをどのように作っていくのか、をご自身の知見と豊富なご経験から話されました。

非常に若々しく、語りかけるように分かりやすく話される方という印象がありました。反面、眠くなった方も多いのではないかと思います。私もそのひとりでしたが大丈夫です。グッスリということはなく、しっかり聞かせていただきました。詳しくは、この事業の報告書がこれから発行されますので、ぜひ会員拡大やクラブ運営に携わる方には、ぜひご覧になって参考にされてはいかがでしょうか。

この講話が 1 時間ほどあって、休憩の後に本会議となりました。セレモニー等々が続き、ガバナーのバッジ交換や地区役員の紹介などがありました。私が一番楽しみにしていたことは、鶴見誠一郎ガバナーの所信表明というか、お考えを間近で聞けるのをとても楽しみにしておりました。というのも、鶴見ガバナーが就任時には 49 歳です。皆さんもあまり 40 歳代のガバナーを知らないのではと思います。僕の中では最年少だと思えますが、また後で調べてみたいと思えますけれども。小船井パストガバナーがガバナーに就任された時は 53 歳だったそうです。清水先生もそのくらいではないかと思いますが、それよりも 4 歳も 5 歳も若いと

あって、皆さまにどのように発信をしていくのが楽しみでした。

非常に緊張されたご様子でしたけれども、はしはしに決意・気概といえますか、やり抜くという情熱を感じましたし、彼の大きなメッセージとして「クラブに寄り添う地区でありたい」という思いが大変強いようです。

これは一方通行ではどうにもならないと思うので、私も世代に近いこともありますし、話も世代も合うと思いますので、意見交換をさせていただいてお互いに刺激をし合って、良いクラブ・良い地区を作り上げる仕組み作りになれればと思った次第であります。

7 月 13 日には、釧路から『ガバナー公式訪問』がスタートします。その週の木曜日に『ガバナー公式訪問』昼例会であります。その前段には、会員の皆さまとガバナーが意見交換をする初めての試みも予定しておりますので、詳細が決まりましたら皆さまにお伝えいたします。

このようなことを地区に聞いてみたい。地区はどのような考えでやっているのだろうか、などの話、また聞きたいことがありましたら私か次年度幹事の佐藤までご一報をいただければ、しっかりと地区へお伝えするようにしますので、ぜひよろしく願いいたします。

昼食を取ってから最後は『分科会』です。分科会は 7 つのテーマに沿って進みました。ちなみに私は第一分科会に登録をさせていただきました。クラブ会長の指名について、R I 会長のテーマ、地区活動方針、D E I 推進、これは最近地区また R I で推進をしている事業ですけれども。それと会員増強と新クラブ設立、そして公共イメージの向上のレクチャーを受けて参りました。

詳しくご説明いたしませんけれども、脈々と続いている会長という役職への向き合い方、また昨今テーマになっているこの R I・地区・クラブについての課題をしっかり考えて取り組みなさい、というところでした。このような流れの『地区協議会』、そして前段の『P E T S』を経て、私が代表してクラブの活動指針を出しますけれども、実は私は先月に活動指針ができあがっております。次年度の理事会ではそれが通過していますので、私自身は何となく答え合わせに行ったような感覚で、すべてのファンクションを受講させていただいています。

会長としての考えは、近々に皆さまの目に届くと思えますので、ぜひご確認いただいて『クラブアセンブリー』の時に、いろいろなお意見、またご質問をいただければと思っております。

この分科会の最後には、小船井パストガバナーからの総評として、「大変若いガバナーだ、ぜひ支援してくれ。応援してくれ。そして育ててくれ」というメッセージ

も預かっております。ぜひ地区とクラブが両輪となって上手なロータリー活動ができるように私も頑張ってお参りたいと思っております。

最後になりますけれども、30名の皆さんと旅先で膝を付き合わせて親睦を深め、交流ができました。やっぱり、いいものだと思います。私にとっては「学ぶ」という成長の機会をいただいていることも大変嬉しいことです。皆さまと膝を付き合わせて、くだらない会話の中でも有意義な時間を過ごせたことがとても心に残っております。

10月には、同じオホーツク・紋別で『地区大会』もごぞいます。ぜひ30名以上、多くのメンバーにご参加いただき一緒にロータリーを楽しみたいと思います。私も親睦と交流の機会は、これまで以上に多く作っていきたく思いますので、ぜひ一緒にロータリーの機会を楽しんで参りましょう。

私からは、以上です。ありがとうございます。

吉田 潤司パストガバナー



皆さん、こんにちは。いま後藤君から大変丁寧に話していただきました。皆さまはだいたい雰囲気分かったと思います。私が感じたこと

は、紋別は小さな街で、小さなクラブです。会員は27名ぐらいですが、その割に、あれだけの『地区協議会』がつつがなく順調に進んだことは素晴らしいと思って見ていました。

会員の皆さんが青いジャンパーを着て、中には、お年寄りの方が杖を突きながらでも何かの仕事をやっていました。ひとつの仕事に対して1人か2人しか人の配属はないですけれども、それでもやっていました。会場の中でも本当によかったと思います。

高野さんのお話は会長が話しましたが、私が初めて高野さんに会った時に「RLI」で会議を行い、あの方がファシリテーターでした。私は初めてRLIの講習を受けて、RLIってこういうもの、素晴らしいものだ、と思って聞いておりました。国際協議会でサンディエゴに行った時にも高野さんに会いました。あの方はいつもニコニコしていて、ちょっと小太りで度量の広い人ですよ。懐の広い方とっていて大変素晴らしい方だと思います。多分、この先ではRIの理事になられるのではないかと思います。

いまお話にありましたけれども、小船井さんが第一分科会で会長。私は第二分科会で幹事の話をしました。アドバイザーは、いまのガバナーノミニージェグネート佐渡さんと、司会をやりました。私も佐渡さんと親しく話したのは今回が初めてでしたが、やっぱり優

秀な方という印象を持ちました。

釧路クラブでは30名近くが行きました。これは高野さんの話もそうですし、最近のRI会長も会員増強の話よりもクラブ作りを主眼にして話すような傾向がありました。その意味では、たくさんの人が出席したことは、釧路クラブが「元気があるクラブ」の証拠だと思います。

今回、特筆すべきことは、JRの戸川さんがJRだけれど、旭川までバスで乗り継いで行ったみたいで、来ていただきまして『くしろナイト』も本当に楽しく交流されていました。振り返ってみますと転勤される方は数年間ですけれど、あまり『地区協議会』『地区大会』に参加してお会いしたことはありません。「これもロータリーだ」というものもあります。クラブの例会ではなく、そのようなものの雰囲気もまたロータリーで、学ぶことによって楽しさが倍増するのではないかと思います。これからは『IM』もあります。『地区大会』もあります。周年事業もいろいろあります。できれば参加していただきまして、楽しんでいただければと思います。

『地区協議会』『IM』の昔の『IGF』の時は、だいたい天気は悪かったです。帰る途中に「ここ、思い出のコンビニだよ」という所がありました。何のことかと思っていたら、数年前、旭川へ行った時に、帰る途中に猛吹雪で、ウチのクラブの会員が夏タイヤで来ていて、「危ないからここに車を置いて行く」と言って帰ったという勇気ある会員の話を聞いて、そうかここだったのかと思いました。私も帰ってくる途中の遠軽・湧別辺りは雪でした。これがもっと酷かったら、走れるかもしれませんけれど危ないということで、そのような勇断は素晴らしかったと思います。

いろいろな意味で大変楽しい地区協議会だったと思います。ぜひ皆さまもこの楽しさは参加しなければ味わえませんので、ぜひ時間が許す限りまた参加していただきまして、『くしろナイト』は、釧路で行う夜の例会の二次会とはまた一味違った楽しさがありますので、ぜひまた一緒に行きましょう。

以上です。ありがとうございました。

八幡 好洋君



改めまして、八幡好洋と申します。よろしくお願ひいたします。私は昨年入会をしたばかりで、今回の『地区協議会』に参加させていただくことも初めてです。そもそも、紋別に伺うことも実は初めてです。本筋とは少し違いますけれども、釧路にいと釧路は海が南側にあるので海に日が沈んでいく

ことが感覚的にあります。けれども、紋別の街に近くなってくると右手・東側がオホーツク海なので海が見えて来ます。夕方に到着すると海の反対側に日が沈んでいくので、運転をしていると釧路の感覚と違う方向に日が沈んでいくことを紋別で初めて感じました。僕は初めてだったので、どのようなものがあるのか全く分からない中で前日の懇親会から参加させていただきました。多くの先輩が参加されていて、僕のイメージはもうちょっと少ないイメージでいましたから、たくさんの方にまず驚きました。

さらに懇親会は一次会・二次会とありましたけれども、凄く盛り上がりまして皆さんは楽しく食事をされていました。僕のイメージでは、ロータリーには大先輩がたくさんいますので、もう少しマイルドな感じだと思っていましたが、本当に皆さんが楽しむ様子を見ていて、僕も楽しませていただきました。参加させていただけてよかったと思いました。

特に二次会は、「ほるすたいん」という面白い名前のお店で、行ってみると意外と普通な感じのお店で、面白い方もいましたし、きれいなお姉さんもいて、楽しく過ごさせていただきまして本当にあっという間だったのです。

やはり幹事・副幹事の皆さまが段取りを一生懸命されている姿も垣間見えて、そのような方々の支えがあつての懇親会なのだと感じさせていただきました。

翌日の協議会の内容についても初めてだったので、分からないままお話を聞かせていただきました。このような機会は講師の孫左衛門さんのお話を目当てに行つたわけではありませんけれども、いざ行って話を伺うと、そのような方のお話を聞いて、偶然のきっかけで参加することによって意図せず学びや気づきを得られるのだと思いました。ロータリーの学びの機会は、積極的に参加することで様々なものが得られるのだと改めて感じました。

今回初めて参加させていただきましたけれども、次回以降も機会があればぜひ参加させていただきたいと思いました。

前日から「明日は寒くて雪が降るらしい」と先輩たちが言っていて、まさかと思っていましたけれども、いざ起きてみたらこの時期にももの凄い大雪で、これも良い思い出になったと思います。多分、参加者で僕が一番若かったと思います。いろいろな方に声をかけていただき嬉しかったです。

また、ぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。

藤井 敬亮次年度副幹事

皆さん、こんにちは。藤井です。私がここに立つと皆さんが顔を向けてくださいます。このような姿・形をしておりますので、何か面白いことを話すのではな

いかと皆さんも思い込まれているかもしれませんが、私はいま心がバクバクして、緊張をして何を話せば良いか悩んでおります。



この『地区協議会に参加して』ですけれども、最初に率直に感想としては、とても勉強になりました。有意義でした。このようなロータリーの大きな大会があることを右も左も分からないこの私が体験させていただいて、まずはとても勉強になりました。

『基調講演』の高野孫左衛門様は18代ということですよ。私も大成寺の住職8代で、名家ではございません。釧路ロータリーにも、代々引き継いで、そのプライド・誇りを守っている二代目・三代目の方も多くいるとお聞きしています。この釧路の伝統と文化の第一線に立って、集まって釧路のために活動をしてくださっている会に、私も一員として関わっていることにとても感謝いたします。

真面目な話ですけど、私も運転手として参加させていただきました。滝越会長、清水副会長、中島幹事を車にお乗せして紋別まで参りました。カミングアウトではありませんけれども、ここで報告をしなければなりません。まずは、ここで壇上からではありますがお詫びを申し上げます。申し訳ありませんでした。

思い込みで大変なものでして、紋別は私も仕事柄、年に数回足を運ぶことありますので、ある程度は街の位置関係を分かっていたつもりですけども、今回の宿泊ホテルがセントラルホテルでしたけれども、私の頭の中では、パシフィックホテルでした。それを混同したまま現地に到着して、このお三方をセントラルホテルではなくパシフィックホテルに降ろしてしまいました。誰もそれに気づかず、私は降ろした後でコンビニへ行っていました。

中島幹事からの着信で「ホテルが違うよ」と。「失礼いたしました。今どちらにいらっしゃいますか」「今ホテルへ向かって歩いているから」と。お三方はパシフィックホテルからセントラルホテルへ向かって歩いておりました。

私は慌てて車を回してセントラルホテルへお連れしましたけれども、本当に皆さまが注目をするほどの人間ではございません。これからは皆さまのご指示・ご指導を仰いで人間的にも成長をして参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本当に、自分の身になる今回の地区協議会を体験させていただきました。ありがとうございました。

佐藤 貴之次年度幹事

続きまして、最後の締めでございます。私からご報

告させていただきます。

私は、今回、幹事予定者として参加したわけですが、今回はホテルの手配、「くしろナイト」の手配、二次会の手配等を副幹事のお二人と一緒にさせていただきました。多分、この時期の幹事には、あるあるなのだと思いますが、今回は地区との連携がなかなかうまくできなかったことが反省点だと思っております。皆さまには、不手際から会場でもバタバタしていたり、雪が降る情報を事前に分かっていたのに駐車場の案内がスムーズにいかなかったり等、反省点は結構ございました。次回の地区大会までにはうまく回るように考えをまとめて、作戦を立てたいと思っております。

今回は、天候の悪い中に参加していただきまして感謝しております。今回、夏タイヤの方が3名いらっしゃいました。本当に日曜日は大丈夫かと思って、後ろにいた浅川さんには「本当に帰っていいですよ」とお伝えしましたがそれでも「いや、いいよ」とお昼過ぎまでいていただきました。

紋別は、帯広や北見と違って、交通の便やお店の便が大きな街とは違い、大変なところが多いのに、あえて来ていただいたことには幹事として本当に感謝できないと思っております。次回、私がそのような立場になっ

ていた時は、先輩にお世話になったことを引き継いでいかなければいけないという思いを感じておりました。

今回、少し良かった点としては、7分区の幹事さんたちと連携を取りまして、他のクラブは北見に泊まるクラブが多かったですけれども、事前に私たちは副幹事と一緒に会場の下見、駐車場の下見などをしていましたので、その情報を各クラブの幹事に流しました。そうしたら日曜日のいざ本番になったら、北クラブなどには先に椅子に「釧路北」と貼られていたりして、教えたこっちが遅くなって失敗した面もありました。今回は先に乗り込んで、北クラブさんの分も作って北クラブさんは前に置いてあげようかと作戦を立てております。

まず、そのようなことで、紋別の『地区協議会』をなんとか無事に事故もなく成功させていただきました。本当に感謝しております。

次回は、10月7・8・9日の3連休に『地区大会』があります。そこも皆さま、ぜひ予定を空けて参加していただきたいと思っております。

この度は、本当にありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■船木 博君 3回目の四国遍路し、無事結願して参りました。

今年度累計 366,000円

